

参議院議員

芳賀 道也 殿

要 望 書

(令和5年度農業委員会大会での大会宣言実現に向けた協力をお願い)



令和 5年 11月 29日
一般社団法人 山形県農業会議
会長 五十嵐 直太郎

令和5年11月13日、山形県内の農業委員・農地利用最適化推進委員など約800名が参加し寒河江市市民文化会館にて「令和5年度農業委員会大会」を開催いたしました。

大会では、「目標地図の素案作成に向けた取り組みの強化」「日常活動を農地利用の最適化に繋げる取り組みの強化」「農業委員会の取組みと事務局体制の強化」の3点について大会宣言をおこないました。

つきましては、大会宣言の実現に向けて、県内農業委員会組織一丸となり尽力してまいりますので、県選出国會議員の皆様のご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

大会宣言

令和5年4月に改正農業経営基盤強化促進法等が施行され、人・農地プランが地域計画として法定化された。農業委員会は地域農業の将来の在り方や目指すべき将来の農用地利用の姿を示す目標地図の素案を作成し、それを基に市町村が、令和7年3月までに地域計画を策定することとなった。

われわれ農業委員会組織は、農業生産の基盤である農地を次世代に引き継ぐため、将来の地域農業を担う者についてや農地の適正かつ効率的な利用のための話し合いを積極的に進め、目標地図の素案を作成していく必要がある。

また、農業委員会の役割や活動が農業・農村の発展に貢献していることを社会に広く認知させるため、農業委員会活動の「見える化」が強く求められている。

山形県農業会議と市町村農業委員会では、「やまがた地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る活動」を方針に掲げ、継続的に取り組んでいるが、地域計画の策定期限まで1年半を切り、一層、取組を強化する必要がある。

このため、下記の実現に向け、山形県農業委員会組織が一丸となって取り組むことを宣言する。

記

1 地域計画策定への協力と目標地図の素案作成に向けた取組みの強化

- ・地域計画策定に向け、市町村担当課との連携及び関係機関・団体との連携を強化しよう
- ・地域農業の将来の在り方や目指すべき将来の農用地利用の姿を明確化するための話し合いに積極的にかかわり参加しよう
- ・担い手や農地所有者の利用意向を基に、農業委員会サポートシステムを活用して、目標地図の素案作成を進めよう
- ・目標地図の素案作成にあたっては、機構集積支援事業・農地利用最適化交付金・地域計画策定推進緊急対策事業を最大限に活用しよう

2 農業委員・農地利用最適化推進委員の日常的な活動を農地利用の最適化に繋げる取組みの強化

- ・農地の活用状況を把握するため、日常的な農地の見守り活動を実施しよう
- ・地域の農家への声掛けによる、顔と顔を合わせた意向把握に取り組もう
- ・日常的に実施した活動はすべて活動記録簿に記載することを徹底し、情報の共有と見える化に努めよう

3 農業委員会の取組みと事務局体制の強化

- ・農業委員会サポートシステム・農地ナビ・ワンデスクシステム・タブレット端末等を活用し、効率化を進めていこう
- ・地域の農地を活かし、遊休農地の発生防止と解消に努め、農業生産の基盤である農地を確実に確保することで、農業者が安心して農業を持続出来るよう、予算の確保と、併せて農業委員会事務局人員確保の働きかけを行おう

令和5年11月13日

令和5年度 山形県農業委員会大会

一般社団法人 山形県農業会議

〒990-0041

山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館6階

TEL : 023-622-8716

FAX : 023-634-8640